



テーマ展「花巻のやきもの」開催中

「ふくろう」224号でご紹介したとおり、現在、花巻市博物館では、テーマ展「花巻のやきもの」を開催しております。この展示は、11月20日（日）までの開催です。11月3日（木）文化の日には、午後1時30分より、博物館学芸員によるギャラリートークも開催されます。興味深い解説を聞くことができ、大変勉強にもなりますので、市内の先生方には是非お越しいただきたいと存じます。

こんな面白い展示もあります



この土器は、花巻市石鳥谷町滝田（八重畑小学校学区内）で発掘された土器です。作られた時代は、弥生時代前期ということです。石鳥谷民俗資料館所蔵の土器ですが、今回の花巻市博物館のテーマ展開催のため、石鳥谷民俗資料館から借用して展示しています。

小型の筒の形をした壺を元にして表現されています。口縁にあたる部分が、動物の口を表現しています。そして、その口には、歯をイメージした刻み目がつけられています。また、底の部分

部分は平坦で、お尻をついて両手を広げています。さて、この土器は、何の動物を表しているのでしょうか。是非、来館なさり確かめてみてください。

現代の花巻ではどんなやきものがつくられているのでしょうか

花巻に住んでおられる先生方は、台焼や鍛冶丁焼が、現在もその伝統が受け継がれて、花巻市内で制作が行われていることをご存知だと思います。それ以外のやきものはないのでしょうか。いいえ、他にも個人等で魅力あふれる作品を制作している作家の方々がいらっしゃいます。今回の展示では、それらの方々の作品も紹介しています。右の写真は、その一部です。



珈琲碗皿



深小皿



ランプシェード

9月の市内小中学校の博物館利用紹介

博物館見学

花巻小学校 2学級 38名

9月15日(木) 9:30~11:20

2学級が一緒に来館し、一つの学級は常設展示室前で学芸員の解説(主に花巻について)を25分ほど聞き、その後、こどもガイドを持って常設展示の近世の展示を30分見学しました。

同じ時間、もう一方の学級は講座・体験学習室で、3つのグループに分かれ、こどもガイドの問題に答えながら資料観察を行いました。

後半は、学級が入れ替わりました。



常設展示室前で学芸員の解説を聞いている様子



屏風(新刻日本輿地路程図全図屏風)を観察してこどもガイドの問題に答えている様子

湯口小学校 1学級 33名

9月28日(水) 10:20~11:55

湯口小学校は、湯口地区にある円万寺館遺跡に関する展示と、熊堂古墳群に関する展示を中心に見学しました。

最初に講座・体験学習室で、縄文人についてや円万寺館遺跡、縄文時代の狩りと熊堂古墳群について、学芸員から解説を受けました。その後、学級を二つのグループに分け、常設展示室に移動し、15分交代で円万寺館遺跡に関する展示の見学と、熊堂古墳群の展示の見学を行いました。さらに、残った時間で常設展示の他のコーナーも見学しました。

今回は、担任の先生が事前に来館して展示を見学し、それを基に子ども用のガイドを作成して児童に使わせることで、より授業のねらいに沿った見学になりました。



最初に講座室・体験学習室で学芸員の解説を聞いて学習しました。



次に常設展示室に移動し、展示の見学を行いました。

※ 9月の出前授業の紹介は、227号で行います。